

## 政務活動費活動報告（視察）

1. 出席者（会派名・個人名）
  - a. 会派／志士の会 個人名／北川元気
2. 実施日：2014年4月28日（月）午後1時40分～

### 【1， 調査の目的】

1. 本市における現状
  - a. 観光／本市は歴史遺産に恵まれているものの、まだまだ観光資源を活かしきれていない。
  - b. 保育／多様化する保育需要に鑑み、待機児童解消や保護者の負担軽減などに取り組む必要がある
  - c. 議会改革／市民に開かれた議会を目指すため、議会基本条例を制定し、議会改革に本格的に着手しようとしている。
2. 本市における課題
  - a. 観光／マーケティングで戦略的に観光政策を行う必要がある
  - b. 保育／保護者の負担軽減の取り組みについて情報収集等
  - c. 議会改革／広報広聴や ICT の取り組みについて具体的な計画がなく、なかなか議会改革が進まない

### 【2， 調査地選定理由】

1. 調査項目
  - a. 流山市のマーケティング戦略について
  - b. 駅前送迎ステーションについて
  - c. 議会改革（広報広聴と ICT）の取り組みについて
2. 選定地
  - a. 千葉県流山市役所

### 【3， 調査結果】

1. 内容
- ・流山市のマーケティング戦略について／総合政策部マーケティング課  
マーケティングってなに？→売れる仕組み  
シティセールスプラン・・・発展し続ける仕組みづくりを戦略的につくる。  
□なにが→強みを知る □だれに→対象を決める □どうやったら→手段を考える  
**都心へ電車で20分。**

なのに、ここまで豊かな自然が残る「都心から一番近い森のまち」流山市。

□DEWKS・共働き子育て世代

- ・ターゲット層をぶれずに設定。流山市は「DEWKS」（子供がいる共働き世帯）。
- ・「母になるなら、流山市。父になるなら、流山市。」「都心から一番近い森のまち」

□仕掛け・魚釣り／だれに、なにを、どのように  
知名度イメージアップ戦略／PR 広告（予算 900 万）

検索・リスティング広告など、企業との協力・連携して活用

- ・今後の課題／市の知名度、イメージ向上

□情報発信 □魅力あるイベントを展開 □効果の検証

考察

彦根市においてマーケティングを強化し□何が強みで□誰を対象に□どのような手法で観光政策が行われているのかを明確にし、わかりやすいキャッチコピーやセールスプランを計画的につくる必要がある。行政は公の視点からターゲットを絞ることが難しいが、流山市はメインターゲットが明確であり、対象を絞ることによって効果的な成果を挙げている。引き続きマーケティング戦略について調査を進め、都市間競争に勝てる彦根市になれるよう研究していきたい。

・駅前送迎ステーションについて／子ども家庭部保育課

保育需要の地域的偏在等により異なる保育所の入所者数の均衡を図り、待機児童の解消、自動の送迎に係る保護者の負担軽減のために実施

- ・事業費（26年度）107,442,000円
- ・25年度登録者集 234人／2866人登録（1施設分相当）

時間／朝 7:00～9:00 夕 16:00～18:00（延長保育 21:00 まで）

利用料／1日あたり 100円 一ヶ月最大 2,000円 ※駅から歩いて1分（雨に濡れない）

課題／保育所の整備

考察

保護者の負担軽減の観点から、流山市では土地柄や地域性もあつて駅前送迎ステーション事業は一定の効果をあげているが、彦根市において同様の事業が合っているのかは疑問である。多様な保育需要の実態や今後の変動を注視し、引き続き取り組み事例を調査していきたい。

・議会改革（広報広聴と ICT）の取り組みについて／松野豊議員、加藤啓子議員

議会改革 15 年。「見られる議会から見たくなる議会への変革」

- ・スマホで採決→目的は採決を公開し開かれた議会を（150 万／ランニング）※大学と連携
- ・議会 HP を独自ドメインで運用（簡単に更新できる仕組みに）
- オープンデータへの取り組み・HP リニューアルのタイミングで実施

【Hack4 Good Teens】 <http://life-is-tech.com/hack4teens/>

※議会改革よりも議会運営委員会の議論のほうが重要となる

参考になる先進地／鯖江市、会津若松市、流山市

- ・オープンガバメント（市政の見える化と市民参加促進）による民意の反映

#### 考察

流山市議会の全体的な印象として、議員だけの議会ではなく、民間企業や市民、大学との連携が開かれた議会の風土を作るきっかけになっていることが特徴であった。議会改革は形だけでは意味がなく「なんのためにやるか？」を明確にしておかなければいけない。

その点、流山市議会では旗振り役の松野議員のリーダーシップによって議会の目指すべきビジョンと取り組みが明確となっており、こういった活動は中心人物が必要不可欠である。スマホの採決、タブレットの導入、オープンデータの取り組み、委員会の進め方、ICTの取り組みなど、彦根市議会とはレベルが違いすぎるほど「市民に開かれた議会」であった。私自身が彦根市議会の旗振り役になれるよう、引き続き議会改革を進めていきたい。